



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	静岡日野自動車御殿営業所新築工事	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★

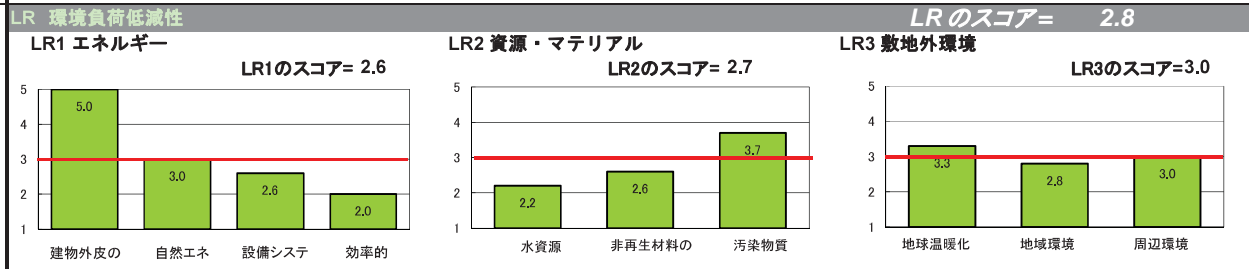
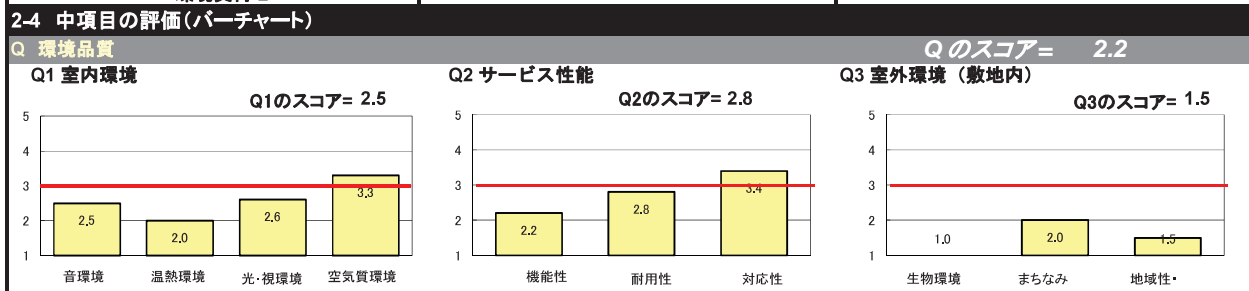
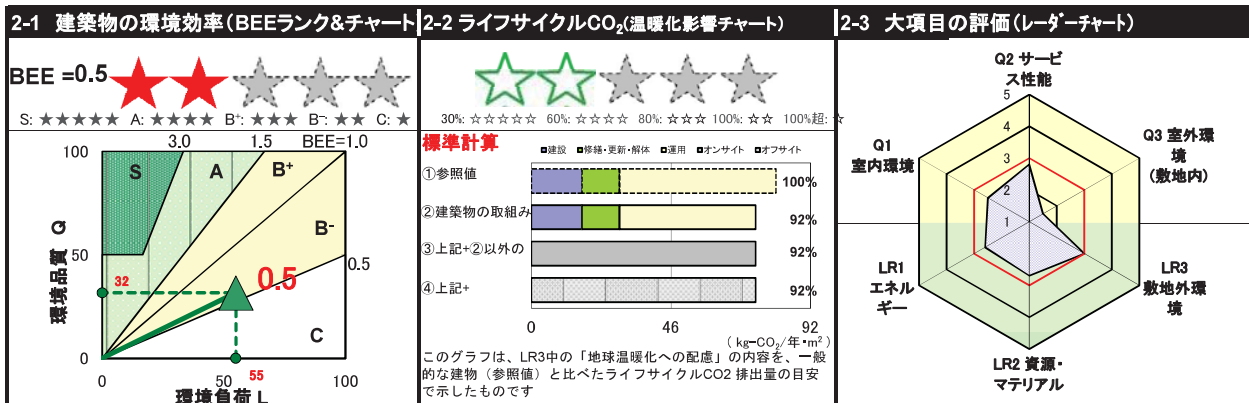
2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.3	/5		がんばろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7	/5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4	/5		がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例 よい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	2.3
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④更新必要間隔長い給水、排水管等の採用。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	圧光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数20%以上(20.10%)の確保。	Q-3 1	⑤	生物環境の保全と創出
	3 3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑩LED照明の採用。	LR-1 1	⑦	建物外皮の熱負荷抑制
	2	⑧	自然エネルギー利用
	3	⑨	設備システムの高効率化
	4 4.1	⑩	モニタリング
	4.2	⑩	運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫躯体・軽鉄・仕上げ材、分別が容易な工法採用 ⑬GW鉱物繊維系断熱材採用、発泡断熱材不採用	LR-2 1 1.1	⑪	節水
	1.2 1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
	1.2.2 ⑪	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
	2 2.1 2.1.1 ⑫	⑫	材料使用量の削減
	2.1.2 ⑫	⑫	既存建築躯体等の継続使用
	2.1.3 ⑫	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
	2.1.4 ⑫	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
	2.1.5 ⑫	⑫	持続可能な森林から産出された木材
	2.1.6 ⑫	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
	3 3.1	⑬	有害物質を含まない材料の使用
	3.2 3.2.1 ⑬	⑬	消火剤
	3.2.2 ⑬	⑬	断熱材
	3.2.3 ⑬	⑬	冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮隣棟間隔指標を0.5以上(4.62)とした。	LR-3 1	⑭	地球温暖化への配慮
	2 2.2	⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	2.7
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高を4.0m以上とした。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.4
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) ⑳外構緑地指数20%以上(20.10%)を確保した。	Q-3 1	⑳	生物環境の保全と創出
	2	㉒	まちなみ景観への配慮
	3 3.2	⑳	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善) ㉔隣棟間隔指標を0.5以上(4.62)とした。	LR-3 2 2.2	㉔	温熱環境悪化の改善

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	静岡日野自動車御殿場営業所新築	階数	地上2F
建設地	静岡県御殿場市駒門字大野原705	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	25 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年7月24日
敷地面積	8,299 m ²	作成者	竹下昌臣
建築面積	2,019 m ²	確認日	2019年7月29日
延床面積	2,648 m ²	確認者	竹下昌臣



3 設計上の配慮事項		
総合 「CASBEE静岡2016年版による評価結果」である。 適切な機械設備、LED照明を使用することにより、省エネ化を積極的に図っている。		その他 特になし
Q1 室内環境 ホルムアルデヒド発散量少ない内装材を採用、空気質環境に配慮した設計となっている。	Q2 サービス性能 空間の形状・自由さを確保している。	Q3 室外環境 (敷地内) 適切な緑地づくりに配慮している。
LR1 エネルギー 適切な機械設備、LED照明を使用し、一次エネルギー消費性能を確保している。	LR2 資源・マテリアル 分別容易な工法と発泡剤無い断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量の削減により、地球温暖化に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される